

令和7年6月3日夜間中学シンポジウムの報告 @ホルトホール大分

1. 参加者について

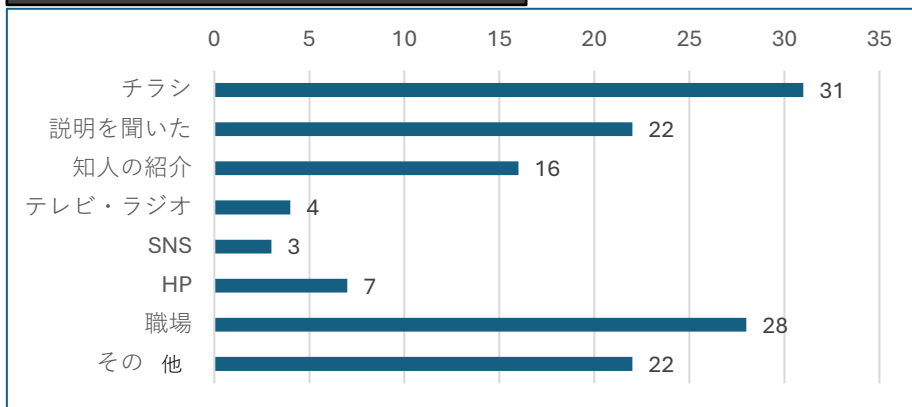
163名の参加

(市町村別数は教育委員会・報道を除く)

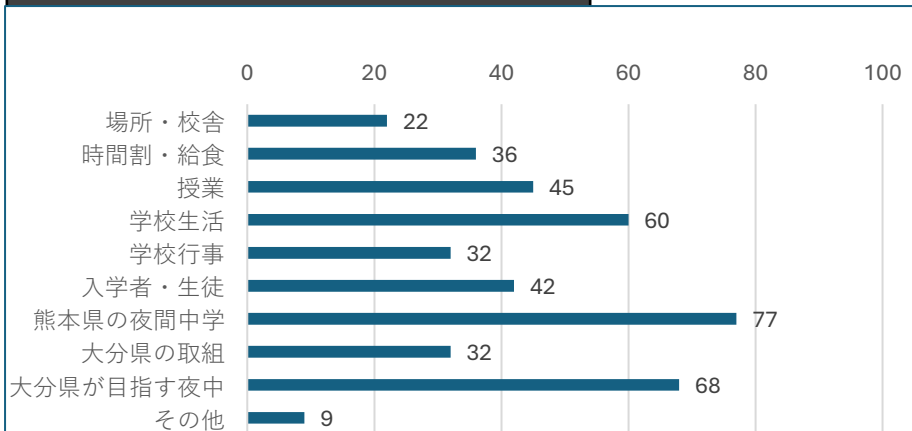
一般	民生委員	教育委員会	教職員	社会福祉協議会	日本語教室	学生	議員	就労支援施設	その他	報道	不明
23	31	41	7	6	3	2	2	1	7	17	23

大分市	臼杵市	由布市	別府市	日出町	日田市	中津市	杵築市	竹田市	豊後高田市	宇佐市	津久見市	豊後大野市	県外
60	9	7	6	4	3	2	2	2	1	1	1	1	2

2. シンポジウムを知った経緯



4. シンポジウムで参考になったこと



3. シンポジウムの満足度

満足	やや満足	やや不満足	不満足
79	23	0	0
77.5%	22.5%	0.0%	0.0%

5. 主な意見

○生徒が楽しく学べて交流できる、成長できる夜間中学の開校になることを期待している。(別府市・民生委員)

○いろいろな選択ができる今の社会をまず学びたいと思い、選択の1つとして学ばせていただいた。(中略)周囲には、不登校で悩んでいる友だちやママ友もいるので少しでも得た情報は広げていきたい。(大分市・一般)

○誰にとっても、歳をとっても学ぶことは人生を豊かにすることを再認識でき、これから一生学び続けたいと思えた。(大分市・民生委員)

○民生委員の活動の中で紹介できる方がいれば、案内したいと思った。(大分市・民生委員)

○県教委、ゆうあい中の方の生の声を聴くことができ、貴重な時間を過ごせた。学びについて迷いを感じている方の背中を押せるよう相談・対応していきたい。(臼杵市・社会福祉協議会)

○ボランティアで教えていた子が来日時、17歳で中学校にもなかなか行けず、高校も日本語ができず、受験もできず、困っていた。今後増えるであろうそういう子の対応をしてもらえればありがたい。(大分市・日本語教室)

○学びの原点を感じた。小中学校でも、知識が入ってくることをうれしと感じることができる学校を意識していきたいと思った。(臼杵市・教育委員会)